

中国の対韓国、対日本貿易統計誤差と再推定

高 正 植 (韓国・培材大学)

本研究では米・中間に発生する貿易統計不一致の問題を韓国、日本へ拡大して中国の貿易統計不一致の問題がアメリカと中国の貿易統計に限ったのではなく、中国の主要貿易対象国にも一般的に現われる現象であることを明らかにしようとする。具体的に次の問題を分析対象とする。

第一、韓国と中国、日本と中国との間に行われた貿易統計にも不一致問題が深刻に現われているか？ 第二、韓・中間、日・中間貿易統計の不一致の原因は何なのか？ アメリカと中国間の貿易統計不一致の原因になっている香港の再輸出部分が韓・中間、日・中間貿易統計不一致にも同様に作用するか？ 第三、韓・中間、日・中間貿易統計不一致原因が香港の再輸出部分にあると分析される場合、同部分に対する再調整を通じて既存の貿易統計不一致の部分を解消することができるか？ 第四、1985-2000年の分析対象期間の中で貿易統計の不一致原因として中国の貿易統計集計方式に変化があったか？

本論文の分析過程を通じて得られた結論は次の通りである。

第一、韓・中間、日・中間貿易統計も中国とアメリカの貿易統計不一致の問題に相当する深刻な水準にまで達している。

第二、中国の対韓国、対日本輸入統計は韓国と日本の対中国輸出統計に比べて大きくなるよう作成され、特に中国の対日本貿易統計は貿易黒字を減らすことができる方式で算定され、対韓国貿易統計は貿易赤字を拡大させる方式で算定されたことが明らかになっている。

第三、中国の対韓国、対日本輸出と韓国と日本の対中国輸入統計の誤差は、香港の対中国輸入の中、対韓国、対日本再輸出部分を含ませて中国の対韓国、対日本輸出統計を算定すると、韓・中間、日・中間貿易統計誤差はほぼ解消される。

第四、中国の対韓国、対日本輸入と韓国と日本の対中国輸出統計の不一致発生の原因も中国側の香港の再輸出統計の処理方式に相当起因していることが確認された。

第五、総合的に見ると、韓・中間、日・中間貿易統計の差は香港の再輸出部分を含めるかどうかによって決まり、同部分を考慮して期間別(1985-1997年、1998-2000年)に分けて中国の対韓国、対日本輸出入を再推定すると、統計的誤差はほぼ解消され、両国間貿易収支不一致に対する認識の差も減らすことができる。

結果的に中国は対韓国、対日本貿易で香港の役割を自国に最大限有利に活用する方式で貿易統計を集計していることを確認した。これはアメリカと中国の貿易統計集計方式でもすでに確認されたことである。

したがって中国との交易で発生する貿易統計不一致問題を解決するために、韓国と日本、そしてアメリカも含み、共同で中国の貿易統計集計方式に対応する必要がある。個別国家次元で中国との貿易統計不一致問題を扱うより、中国との交易で貿易統計不一致問題を抱えているアメリカ、日本、韓国などが協力しあい、中国との貿易統計合同調査委員会を構成し、共同調査研究を行う必要もある。

COMMENT

Ko Jeong-Sik (高 正植) 氏の報告は、貴重な示唆に富む報告である。各国の貿易統計を比較することによって得られる両統計間の「誤差」については、IMFの指摘を待つまでもなく、常に生じるものであるが、高氏はとくに中国を相手とする貿易統計に大きな「誤差」が生じていることに注目し、その根拠をアメリカにおける「米中合同調査委員会」の報告書にそくして、香港貿易をめぐる各国の貿易統計の作成上に問題点があることを示唆した。私も、貿易統計を用いる際、この「誤差」について気がかりであったが、高氏が報告された推計方法および推計値に全面的な賛意を表したい。

この各国のとりわけ対中国の貿易統計数値を根拠あるものに推計しなおさない限り（つまり各国独自の貿易統計に依存する限り）、日本や韓国の研究者や政策立案者などがいくら「東アジア自由貿易地域」の各国の地位と役割のイメージを構成

西 川 博 史 (北海学園大学)

しようとも、全く異なるイメージを獲得することになる。各国間の貿易緊密度（貿易結合度、輸出競争力とも表現される）に関する論議も、実はこの「誤差」問題をどう認識し、どう処理するかによって、論議の内容は大きく異なってくるのであるが、一般には、このことの意味が自覚的に問われていない。「日中韓三国間の経済関係強化に関する課題」としてさまざまな現状評価が提出されているが、この論拠となる実際の貿易数値については、なんら検討も言及もなされていない。

こうした論議をさらに発展させるには、高氏が行った推計処理方法を重要な輸出入商品群にも適用させて、それぞれの項目における「誤差」修正の数値を得る必要がある。これらは今後の課題であるが、加速するとされる東アジアのFTA問題、ASEAN+日中韓の動向を確定するためにも、早急に取り組まれる必要がある。